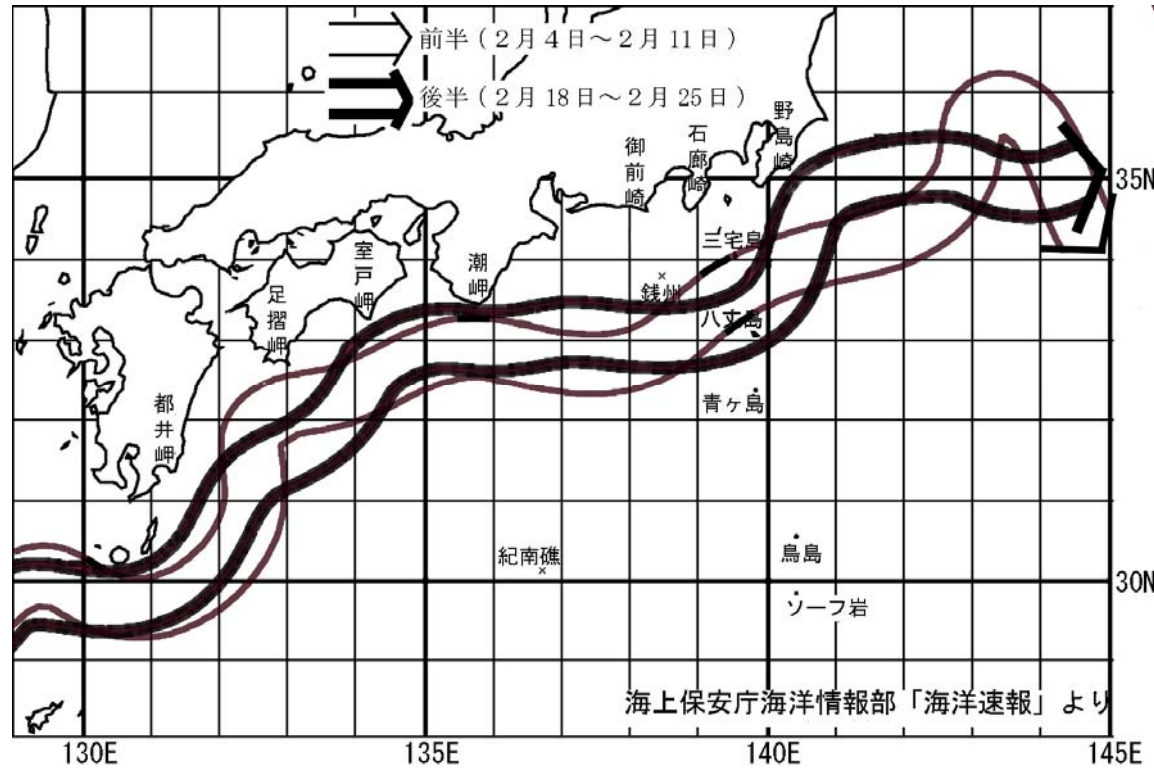


# 漁海況月報

平成22年 2月 1日

No. 2 ~2月28日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	13.6	14.4	13.9	13.3	12.7	13.8	10.1
	-0.4	0.0	0.1	-1.1	-1.3	0.2	-1.4
中旬	12.3	14.0	14.1	14.3	14.2	13.0	10.6
	-1.7	-0.1	0.4	0.1	0.2	-0.4	-1.0
下旬	13.8	15.5	14.9	14.9	14.7	15.0	12.1
	0.1	1.4	1.2	0.6	1.0	1.6	0.5
月	13.2	14.6	14.2	14.1	13.8	13.8	10.9
	-0.7	0.4	0.5	-0.2	-0.1	0.4	-0.7

## 【黒潮流路】

前半の黒潮は、九州の都井岬南東沖で離岸し、その後、四国の土佐湾沖でやや離岸したものの潮岬沖までは概ね接岸傾向で流れた。潮岬以東では、遠州灘沖 33° N付近を緩やかに南偏しつつ東進し、御前崎沖から北東に向かい三宅島のやや南を通り、房総半島沖を離岸傾向で流れた。

後半には、都井岬沖での離岸変動が東進したため四国の足摺岬沖で大きく離岸した。その後、潮岬沖までは接岸傾向が強まった。潮岬以東では、遠州灘沖 33° N付近を八丈島付近まで東進し、同島から北上し三宅島のやや東を通り房総半島にかなり接近した。その後 35° N付近を東へ流れた。潮岬以東では黒潮小蛇行の通過に伴い、御前崎沖で約 10 マイル接岸、伊豆諸島海域で約 30 マイル離岸、野島崎南東沖で約 30 マイル接岸した。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 11~15°C 台、駿河湾の東部では 11~15°C 台、西部では 8~15°C 台で経過した。上旬、中旬は平年並み~平年よりも低めだったが、中旬後半には黒潮の変動に伴い伊豆諸島北部から暖水波及がみられ、駿河湾東部では 18 日に 15°C 台に昇温し、下旬は平年よりもやや高めとなった。

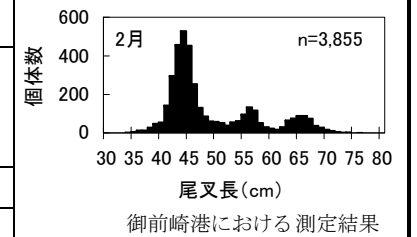
## 【竿釣カツオ】

2月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚量は151トンで前年同期の54%であった。魚価は412円/kgで、前年同期を上回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、小笠原諸島周辺で小(尾叉長44cmモード)、中(尾叉長56cmモード)、大・特大(尾叉長65cmモード)カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量(近海、県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
22年2月上旬	13	2	6.5	557
中旬	76	8	9.5	385
下旬	62	5	12.4	416
22年2月計	151	15	10.1	412
21年2月計	280	19	14.7	246
20年2月計	25	2	12.5	414



## 【定置網】

平成22年2月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は354トンで、昭和57年以降で3番目に多く、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量50.5トンは前年47.3トン(6漁場)の107%、平年値(昭和57~平成21年)22.8トンの221%であった。

魚種別水揚量は、①カタクチイワシ210.8トン(A:前年同月比493%、B:平年同月比641%)②ブリ53.7トン(A:310%、B:458%)③スルメイカ31.9トン(A:72%、B:212%)④サバ類25.4トン(A:89%、B:477%)⑤マアジ8.8トン(A:13%、B:46%)の順であった。

カタクチイワシは古網、川奈中心に入網し、昭和57年以降で3番目に多く漁獲され、被鱗体長のモ

ードは11 cmであった。ブリのうちブリ銘柄は、北川、谷津を中心に7696本が入網し、昭和57年以降で3番目に多く漁獲され、尾叉長のモードは77 cmにみられた。スルメイカは北川、谷津、川奈中心に入網し、昭和57年以降で3番目に多く漁獲され、外套背長のモードは26 cmであった。サバ類は伊豆山、古網中心にゴマサバ主体で入網し、昭和57年以降で最も多かった前年に次いで2番目に多く漁獲され、尾叉長のモードは34 cmにみられた。マアジは北川、川奈、富戸を中心に漁獲され、尾叉長のモードは20 cmにみられた。

漁場別水揚量は、古網122トン（カタクチイワシ、サバ類中心）、北川78トン（ブリ、カタクチイワシ、スルメイカ中心）、川奈64トン（カタクチイワシ、スルメイカ、マアジ中心）の順であった。

### 【サバたもすくい棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ64トン（前年同月比37%）、ゴマサバ830トン（前年同月比344%）が水揚げされ、1隻あたり水揚量はマサバ1.5トン/隻（前年同月比31%）、ゴマサバ19.8トン/隻（前年同月比296%）であった。平均単価は、マサバが249円/kgと前年に比べ軟調、ゴマサバは61円/kgで前年同月（75円）、前月（71円）を下回った。

漁場は、たもすくいが三本、ひょうたん瀬に、棒受網は三本に形成された。マサバは2月中旬から、たもすくい中心に本格的な漁獲がみられ、尾叉長34～35cmモードの3歳魚（2007年級群）が主体となった。ゴマサバは、30～33cmモードの3歳魚（2007年級群）、22～27cmモードの1歳魚（2009年級群）が主体となった。また、棒受網では26～27cmモードのオアカムロも混獲された。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
22年2月上旬	1	19	3	4	0.3	4.8	463	157	ひょうたん瀬 三本
中旬	22	481	5	19	1.1	25.3	210	61	ひょうたん瀬 三本
下旬	41	330	6	19	2.2	17.4	263	56	ひょうたん瀬 三本
22年2月計	64	830	14	42	1.5	19.8	249	61	—
21年2月	174	241	12	36	4.8	6.7	457	75	ひょうたん瀬 三本
20年2月	0	882	9	24	0.0	36.7	315	96	三宅、三本

\* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\* 20年2月には15kgのマサバ水揚げがあったので、単価のみ記載。

### 【まき網】

小川港ではマイワシが485.7トンの水揚げで平年同期（5.1トン）の96倍であった。沼津港ではマイワシが426.5トンの水揚げで平年同期（39.7トン）の11倍であり、カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期は2.3トン）。静浦港ではマイワシの水揚げはなく（平年同期は水揚げなし）、カタクチイワシの水揚げもなかった（平年同期0.02トン）。伊東港ではマイワシが230.3トンの水揚げで平年同期（0.2トン）の1,152倍であった。

注) 平年同期：過去5か年(2004～2008年)平均

### 【調査船の動向】

富 士 丸		2月 28日		津波警戒避難	(1日間)
駿 河 丸		2月 1日	～ 2月 2日	地先定線観測調査	(2日間)
2月 4日	～	2月 5日		サクラエビ IKMT 調査	(2日間)
2月 8日	～	2月 9日		地先定線観測調査	(2日間)
2月 17日	～	2月 18日		駿河湾短期海況変動調査	(2日間)
2月 22日	～	2月 24日		サバ漁場調査	(3日間)
2月 25日	～	2月 26日		シラス調査	(2日間)
2月 28日				津波警戒避難	(1日間)

### 静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

